

# たんぽぽだより

2016年10月号



運動会はありがとうございました。

去年は泣いていたり、ほとんど出来なかった子が、他の子供たちと一緒に出来るようになっていたり、最近たんぽぽに新しく入った子も時々泣きながらも一緒に参加している姿を見ると子どもの成長を感じますね。

「自分はダメな人間だと思いますか？」という質問に『そう思う』と答えた中学生が、中国では11.1%・アメリカでは14.2%、日本では56%でした。(日本青少年研究所 H21年2月)

半数以上が、自分はダメな人間と思っているんです。これは大きな問題です。

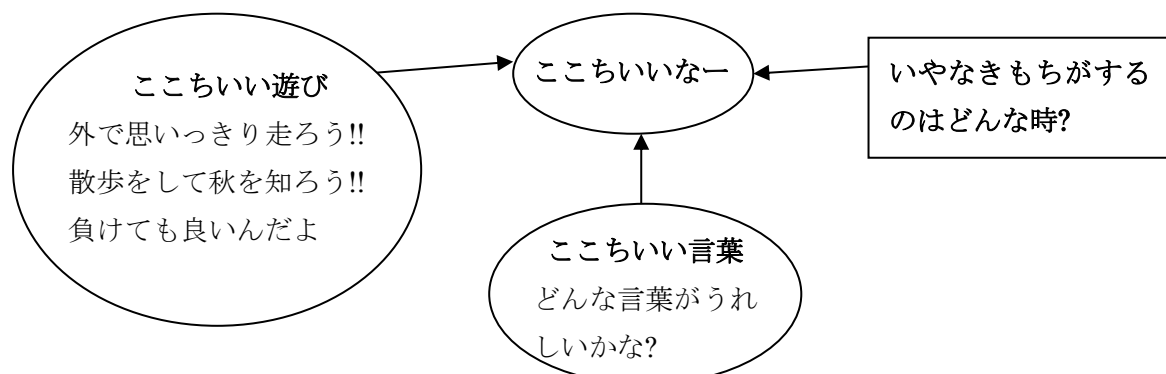
〈自己肯定感〉とは、私が思うのは、「**根拠のない自信**」だと思っています。これは**《そこにいるだけであなたは素晴らしい》**です。つまり今までの日本の保育・教育では自分の存在を認められていると感じられないという事になるのだと思います。

《今を○と思うか×と思うか》によって評価は変わってきます。例えば「かけっこで5人中3番だった」と言う事実があります。それを×ととらえれば、「1番じゃなかったの?」となりますが、「最後まで、よくがんばったね」と言う事によって○が付きます。頑張った私を認められます。自己肯定感を上げる言葉ってどっちでしょうか?

かけっこで1番になると言う事は、根拠のある自信ですが、1番になれる子は、一人だけです、しかし頑張ることは誰にでもできます。いや、人はいつも頑張っているんです。そこを認める事が、何より自己肯定感を上げることに繋がります。

泣き虫の子も、怒りっぽい子も、恥ずかしがりの子も色々な個性があるから面白いのです。

玄関に貼っていますが、Facebook で見つけた「声掛け変換表」を付けます。おんなじ内容でも言葉かけ一つで受け取る方の気持ちが違ってきます、ぜひ参考にしてください。



10月の目標：いもほり・散歩など外の活動を通じて秋を感じる。

規則正しい生活を送る。

ねらい：秋の気配や季節の移り変わりを感じ、外での遊びを楽しむ。

各年齢のねらい：

- 0歳児・秋の自然に触れながら、戸外遊びや散歩で体を動かす
- 1歳児・気温差に留意し健康で快適に過ごせるようにする。  
身近な秋の自然に触れながら戸外遊びを十分に楽しむ。
- 2歳児・一人ひとりの健康状態と活動量を把握し、十分に休息を取って快適に過ごせるようにする。
- 3歳児・秋の自然に触れ合いながら、戸外活動を楽しむ。
- 4歳児・秋の自然の様子を見たり、自然物を遊びに使ったりして季節を感じる。
- 5歳児・秋の自然に興味をもち、触れたり、収穫したり、あそびに取り入れて楽しむ。

## 10月の生活目標

- 0歳児：ハイハイしたり歩いたりし身体を十分に動かして楽しむ。  
外に出て季節の移り変わりを感じる
- 1歳児：食後に口や手をおしぼりで拭いて、きれいにする気持ちよさを感じる。排泄を言葉や仕草で教えたり、トイレで排泄しようとする。衣服の着脱を自分でしようとする。  
保育者や友だちと手を繋いで散歩をしたり、固定遊具や三輪車などで体を動かして遊ぶ。保育者と一緒に身近な秋を感じる。
- 2歳児：季節の変化に伴い衣服の調節を心掛け、薄着の習慣が付くように配慮し、元気に遊びを通して友だちとのやりとりの面白さを知る。  
出来るだけパンツで過ごす時間を伸ばしていく。過ごせるようにする。一人でやってみようとする姿を大切にする。
- 3歳児：活動後、食事前など手洗いうがいを丁寧に行う。身の回りのことを積極的に行う。
- 4歳児：気温や運動量に応じ、休息や水分補給・衣服の調節を行い、健康に過ごせるようにする。一人ひとりの思いを受けとめ、安心して自分の気持ちを表現することができるようにする。秋の自然物や収穫物で制作したり、あそびに使ったりする。芋掘りに参加し、収穫を通して、驚いたり、感動したりする。
- 5歳児：気温や運動量に応じ、休息や水分補給・衣服の調節を行い、健康に過ごせるようにする。一人ひとりの思いを受けとめ、安心して自分の気持ちを表現することができるようにする。秋の自然物や収穫物で制作したり、あそびに使ったりする。芋の形や大きさなどを観察しながら、芋掘りを楽しむ。

保育サロン  
たんぽぽ